

平成24年 3月 8日

各 位

まちなかり山公園づくりの会

次回(3月10日)の作業予定について

弥生3月に入って、ようやく梅の花もつぼみが膨らんできました。例年より2週間遅いと言うことですが、あなたさまにはいかがお過ごしでしょうか。

3月3日の予備日の作業大変ご苦労さまでした。

右写真のごとく道が開けました！

向かいの建物は吉川宅の納屋です。その右手が山元宅です。

この道は右手に迂回し、斜めに降りて菊川宅の後ろへ続いていきます。最終的にはお寺の駐車場へ入ります。

道の手前は倒竹が積まれています、今月末には竹チップを入れて整理したいと思っています。これから暖かくなります。

作業も^{はかど}捗ることでしょう。

気楽に楽しみながら、焦らずにやっていきましょう。

記

以上



○ 立竹の間引き伐採と整理

3日の作業後の整理が終わったら、〇〇さん宅横の間引き作業をします。段差の激しいところですが、気をつけて作業をしましょう。伐採後の倒竹は、1本を3分割くらいにし、枝払いをせずにそのまま道路脇に積載します。

道路から現在までの作業スペースへ竹チップを下ろすため、斜面の凹凸を埋める材料を土砂でなく竹チップで行おうと考えています。今回はそのための準備としての間引き作業になります。

この作業終了後、〇〇宅後ろの間引き、さらには開通した道路の〇〇宅後ろ 付近の間引き整理にかかります。

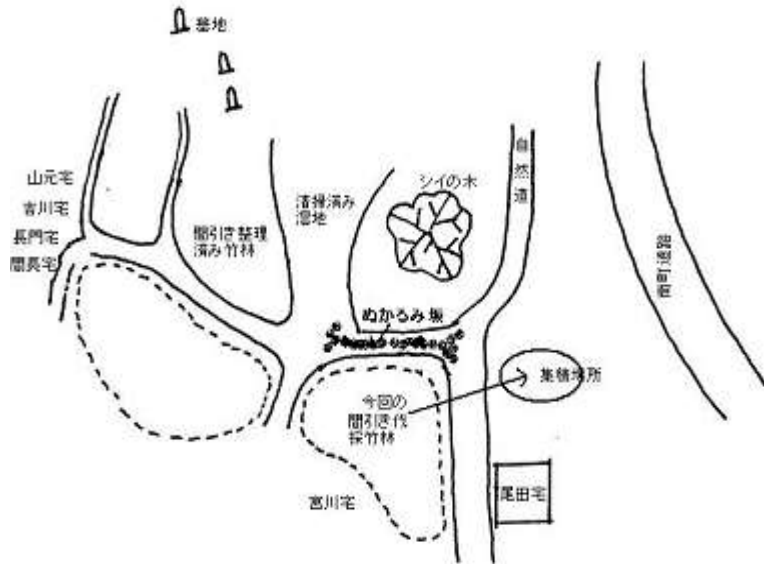
○ 南町側の暫定通路の除草整理

南町側斜面の山腹は現在自然道がついていますが、この付近にシイの木の太木

があります。その周辺の整理と雑木を下刈りし、さらには自然道を奥に進めます。

^{なた}鉋や刈り払い機、カマ、鋸、チェーンソーも必要になりますので、用意できる人は持参してください。

作業略図



今回も竹の割れ、跳ねる小枝など予期せぬ危険を伴いますので、顔面防護するなど十分気をつけてください。枯竹は固く、跳ねるともろにけがをします。

立竹を倒すときは必ず大声か、笛の合図で他の人に注意喚起してください。

○ 危険回避と安全第一、前回同様十分注意して作業に当たってください。

- ・ 作業に耐え得るような上着(作業用の「ツナギ」など)を着用してください。
- ・ 水分補給、汗拭き用のタオルは各自必ず用意してください。
- ・ 頭部防護用の帽子(できればヘルメット)、目を守るためのゴーグルを着用してください。
- ・ 足元防護のための長靴や作業靴を履いてください。
- ・ 作業のための各自の機材は、忘れないよう目印をつけ、置き場所を決めておいてください。
- ・ 手袋は革製など頑丈なものを着用してください。防寒にも注意！
それでは がんばりましょう !!

[お知らせ]

ほんの少しですが、動力機器(刈り払い機、チェーンソーなど)が使われた方に混合油とオイルを配給します。2種以上稼働した人は燃料(混合油4ℓ 2缶)とオイル1パック。1種類の人には燃料(混合油4ℓ 1缶)の配布とします。

〇〇宅に置きますので、該当の方は作業後寄って持って帰ってください。